

公益社団法人日本地球惑星科学連合
2024年度(令和6年度)第4回理事会議事録

1. 開催日時 2024年9月24日 13:00～16:00

2. 開催場所 Zoomによるオンライン会議

3. 出席者 理事数 20名
出席理事 17名 (定足数11名 会議成立)

4. 議長 理事 ウォリス サイモン

5. 出席役員

理事 ウォリス サイモン

理事 小口 高

理事 阿部 なつ江

理事 河宮 未知生

理事 高橋 幸弘

理事 大谷 栄治

理事 沖 大幹

理事 沖 理子

理事 小口 千明

理事 掛川 武

理事 関 華奈子

理事 田近 英一

理事 成瀬 元

理事 長谷川 直子

理事 村山 泰啓

理事 道林 克禎

理事 和田 浩二

監事 春山 成子

6. オブザーバー

宇宙惑星科学セクションプレジデント

中本 泰史

宇宙惑星科学セクション幹事

松田 昇也

大気水圏科学セクションプレジデント

佐藤 薫

大気水圏科学セクションバイスプレジデント

大手 信人

地球人間圏科学セクション幹事

南雲直子

固体地球科学セクションバイスプレジデント

沖野 郷子

情報システム委員会委員長 興野 純

学協会長会議議長

鷲谷 威

事務局長

末廣 潔

7. 審議事項

第 1号議案 新入会員承認の件

・定款第8条2項の会員の入会の定めに従い、新規入会者の入会を審議した。これを承認した。

第 2号議案 国内出張旅費規則 改訂の件

国内出張旅費規程の4条に「2 この規則により難い場合は、事前に事務局との協議により決定した額を支給する。」を追加することを検討した。これを承認した。なお、実際の決定方法については内規等で規定することとした。

旅費についても確認した。定めた以上の料金が発生する場合は、差額を自己負担することとしている。これについても内規等を整理する。

第 3号議案 国外出張旅費規則 改訂の件

外国出張旅費規程の4条に「2 この規則により難い場合は、事前に事務局との協議により決定した額を支給する。」を追加することを検討した。これを承認した。

第 4号議案 その他（共催セッションについて）

・高橋理事より緊急審議の申し出があり、共催セッションのガイドラインの設置（共催ガイドラインの改訂）について審議した。

現状のセッションガイドラインの海外協力学会との共催セッション、団体会員との共催セッションとは別に「その他の団体との共催セッション」を設ける。コンビーナからの申請に基づき、理事会での審議を経て、共催セッションとして開催する。セッション提案完了後、共催セッション開催希望を申請することとする。具体的な手順としてはリーダーシップでの検討後、理事会審議とする。

団体会員の共催セッションとの切り分けについて議論した。「その他の団体との共催セッション」は分野が異なる団体等、団体会員として加入が難しい団体を対象とする。

団体会員はJpGU大会全体が共催であるため、「その他の団体との共催セッション」とは位置づけが異なるという意見があった。これに対して、「学協会セッション」には一定の手続きがあり、「その他の団体との共催セッション」はこれと近い存在として映るという指摘があった。また、「その他の団体との共催セッション」は団体を審議するのではなくセッションごとに審議する点に違いがある。

改訂することを承認した。文言等については大会運営委員会と検討することとした。

8. 報告事項

1. ウォリス サイモン代表理事 職務報告

・ウォリス代表理事より報告があった。理事会報告については、是非報告資料を事前にご用意いただきたい。また、その際に報告に必要な時間の目安を示してほしい。

・次回理事会は11月13日14：00を予定している。参加予定が11名で成立要件の最低人数であるのでご留意いただきたい。

・Joint Meeting 2026の開催について科研費（研究成果公開推薦費）の申請を行った。

- ・学術会議地球惑星科学委員会にオブザーバー参加をした。
- ・AGUとの協議を続けている。JpGU 側タスクフォースのメンバーが決まり、11月に会合を予定している。

2. 小口 高理事 職務報告

- ・ジョイントミーティングでもセッションの提案予定についてのアンケート調査を行い、多数の回答を得た。
- ・GSAに出席した。Global Geoscience Societiesの会合への出席を予定している。学部生のポスターセッションが開催されている。

3. 阿部 なつ江理事 職務報告

ダイバーシティ推進関連の報告があった。

4. 原田 尚美理事 職務報告

報告を省略した。

5. 河宮 未知生理事 職務報告

- ・スポンサー制度の新規開拓について検討している。
- ・ジャーナルについて、出版社の変更の可能性について検討しており、タスクチームを立ち上げた。
- ・AGUとのジョイントミーティングでのビジネスモデルについて検討している。

6. 高橋 幸弘理事 職務報告

- ・環境経済・政策学会（SEEPS）との共同企画セッションの開催について報告があった。
- ・人工知能学会との共同作業について報告があった。オンラインでの運営会議、コンペ審査員の推薦準備、人工知能学会でのセッション提案を検討している。
- ・モンゴル物理学会及びモンゴル地球物理学会とのパートナーシップの検討をしている。
- ・オンヤクの継続利用について報告があった。

7. 道林 克禎理事（総務担当）職務報告

協賛イベントについて報告があった。

8. 成瀬 元理事（財務担当）職務報告

- ・科研費（研究成果公開推薦費）の申請を行った。
- ・本年度の追加予算の申請受付を準備している。
- ・決算について準備している。

9. 和田 浩二理事（大会運営担当）職務報告

○大会準備について報告があった。

- ・ポスターフラッシュトークは休止する。代わりとなるポスター推進策を検討する。
- ・展示ホールは1.5面利用する。
- ・持ち込みPCの利用は継続するが、ネット接続不要となるシステムを検討する。

- ・セッション企画セッションは一般セッションと同じプロセスで提案・採択する予定である。通常セッションの時間以外で開催する場合にはイベントとしての申請が必要。
- ・緊急セッション提案・実施のガイドラインを準備中である。1か月前までに理事1名以上の承認を得て申請、口頭発表は大会の前もしくは後にオンラインでの開催となる、最大コマ数は4となる、等の説明があった。
- ・2026年のジョイントミーティングに向けての2025年大会での施策について説明があった。
国際学会としての位置づけについて、学生へのプレゼンテーション資料のテンプレート提供について、および学生賞の英語優遇策についての検討内容が紹介された。いずれも難しいと思われる。ただし、2026年に限ってAGU-Awardを設けることは可能であるが、AGUとの調整など事前準備は必要である。
コンビーナの人数上限はシステム上難しいという説明があった。
共同セッションについて、セッションにつき1名を参加料無料にするという案については可能であるが、事務上の負担が大きくなることが予想される。
PEPSとの連携、優遇措置についてはPEPS編集部から積極的な回答があった。
コマ割り当て優遇、ポスター掲示時間を延長するなどの案については難しいという説明があった。
現実的な案として、AGUジョイントセッションの発表者1名無料、PEPS特集号を汲む際の優遇措置、学生を対象とするAGU-Awardの設置の3点の説明があった。AGU Awardについては、2026年限定でなくInternational Awardにして継続して開催するとよいという案があった。
PEPS特集号に関する予算措置など、十分な検討が行われていないことに指摘があり、これらはまだ決定事項ではないという説明があった。今後必要な検討を行ったのちに可能な施策を行う。
- ・今後の検討事項、スケジュールが紹介された。

10. 沖 大幹理事（グローバル戦略担当）職務報告

- ・グローバル戦略委員会開催等の報告があった。

11. 広報普及委員会活動報告（田近理事）

- ・11月JGLの編集作業を行っている。特別荣誉フェロー2名の原稿が掲載される。
- ・高校生特別講座を開催する。現在準備作業中である。
- ・JpGU大会を舞台とした伊与原氏の小説を原作としたドラマがNHKにて10月8日から放映される。会員への周知を予定する。

12. 環境災害対応委員会報告（小口 千明理事）

- ・環境災害対応委員会からの報告があった。能登の豪雨災害について速報を準備中である。また、同様の件について対応のガイドラインを準備している。
- ・『ぼうさいこくたい2024』への出展を準備している。

13. ダイバーシティ推進委員会活動報告（堀利栄理事）

阿部理事より代理で報告があった。

- ・女子中高生夏の学校への参加、男女共同推進連絡会への出席について報告があった。

- ・大会時ランチタイム会合の子連れ参加、J p G U社員総会の開催時間、日曜日の学童保育について要望があった旨、報告があった。

14. 教育検討委員会活動報告（宮嶋敏理事）

阿部理事より代理で報告があった。委員会体制を更新している。

15. 情報システム委員会活動報告（村山担当理事）

- ・会員管理システムの刷新について報告があった。開発者コンペを予定している。そのため提案依頼書（RFP：Request for Proposal）作成の支援会社の選定を行っている。

- ・RDMについて報告があった。アンケート調査結果をホームページに掲載した。JSTとの懇談会を10月1日に予定している。

16. ジャーナル関連活動報告（掛川理事）

- ・科研費の申請を行った。
- ・高野委員を地球生命分野の編集長に選任した。

17. 顕彰委員会活動報告（道林理事）

- ・下記の通り各賞の募集日程を提案したところ、承認された。

会長賞 2024年11月15日（金）正午から11月22日（金）正午

国際賞 2024年11月22日（金）正午から11月29日（金）正午

西田賞 2024年12月1日（日）正午から12月10日（火）正午

フェロー 2024年12月11日（水）正午から12月20日（金）正午

- ・フェローの顕彰人数について、従来の総数が全会員数の約1%とする制約を取り払い、毎年10名程度まで認める。ただし、審査基準は従前通りである。

- ・フェロー候補者推薦について各セクションボードに協力依頼する。

- ・執行理事会の議論をふまえて、(1)と(2)の運用について顕彰委員会で調整する。

18. その他

事務局機能タスクフォースの報告があった。関連学協会の状況確認、システムリニューアルのスケジュールとの兼ね合いなどを検討した結果、今回のタイミングでは事務局機能委託業務は困難であるという結論に至ったことが説明された。

以上

議長は以上をもって、すべての議事を終了した旨を述べ、閉会を宣した。（午後16時00分）
以上の議事の要領及び結果を明確にするため、本議事録を作成し、出席役員は次に記名・押印する。（捺印欄配布時省略）

2024年9月24日

出席理事	ウォリス	サイモン	印
出席理事	小口	高	印
出席理事	阿部	なつ江	印
出席理事	河宮	未知生	印
出席理事	高橋	幸弘	印
出席理事	沖	大幹	印
出席理事	成瀬	元	印
出席理事	道林	克禎	印
出席理事	和田	浩二	印
出席理事	大谷	栄治	印
出席理事	沖	理子	印
出席理事	小口	千明	印
出席理事	掛川	武	印
出席理事	関	華奈子	印
出席理事	田近	英一	印
出席理事	長谷川	直子	印
出席理事	村山	泰啓	印
出席監事	春山	成子	印